

富士見丘小学校 の人権教育 「ふれあい月間」

令和
4年度

自分を大切に
みんなを大切に

自分の命を守る
みんなの命を守る

すべての子供たちが幸せに、勉強したり、遊んだりして、能力を十分に伸ばして成長してほしい。世界共通の願いです。本校では、『**子供は未来の守護者**』と捉え、保護者、地域の皆様方と協働して、「創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く児童の育成」に努めています。

共にある教育を目指し、学校、保護者、地域が協働しています

地域と共に

▶ レクリエーション、ボランティア活動

地区委員会とPTAが一体となって、「水鉄砲大会」などのレクリエーション、「丸池清掃」「グリーンボランティア」などの清掃活動をしています。感謝、感謝です。水鉄砲で一番夢中になっていたのは先生たちかもしれません。



保護者の参画

▶ 朝の読み聞かせ、地域探検・地域訪問

保護者の皆様や担任による読み聞かせをしています。学級がご家庭と一体となって、アットホームな雰囲気になられ、児童がやさしい笑顔になります。地域探検の際は多くの保護者に見守られながら安全を確保しています。



先生と児童、児童同士のより良い関係を深めています

SOSカード

▶ 一人で悩まないで、伝えてみよう

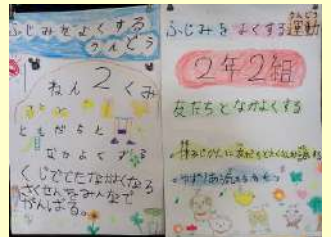
SOSカードは子供たちが悩んだり困ったりした時に、気兼ねなく先生に相談しやすくなる「お守り」です。「私の先生」になってくださいと相談したい先生を訪ねて、「いつでもどうぞ」と約束のサインをもらい絆を深めています。



児童会活動

▶ ふじみをよくする運動、ユニセフ募金

児童の発案で、代表委員による「あいさつ運動」と「縦割り班活動」がコラボして『たてわりあいさつ運動』を展開し全校児童が主体的に参加する活動となりました。ユニセフ募金は、毎年継続し、世界に目を向ける機会となっています。



命の授業

▶ 校長先生の道徳「命の授業」

すべての命は、かけがえのないものであり、命や心を大切にする意味を深く考える機会としています。心は目に見えません。目に見えないからこそ、相手の気持ちになって考えることの大切さに気づき、いじめがない学校を目指します。



かけがえのない命、心を守るために人権について学んでいます

人権集会

▶ 人権集会、思索コンテスト

人権集会では、人権標語(5年生)、人権作文(6年生)を発表し、全校児童で共有し、考える場としています。また、思索コンテストでは、一人一人がテーマに向き合い、思索し、自分の考えを自分の言葉で表現しています。

